

縄張り図でめぐる富山の城⑬

い け だ

池田城

立山町池田

越中有数の国人寺島職定の居城。職定が永禄12年(1569)～13年にかけて職定が反上杉方として居城したとき、芦崎寺衆徒が職定に協力していることが知られている。大規模な切岸・塹堀・堀切・平坦面は職定の勢力の大きさを物語る。籠城時の居住施設千畳敷には泉水が湧く。また単純ながらも計画的な通路を設定しているが、このために千畳敷が孤立してしまっている。さらに各曲輪の繋がりも悪く、縄張り技術の限界も見せている。

(佐伯哲也)

【城へのルート】

富山地铁立山線(沢中山駅)⇒240m東進して左折⇒沢中山(交差点)右折⇒県道169号線⇒県道168号線1.6km直進⇒右折して0.6km直進
※富山地铁立山線(沢中山駅)から東南約5kmの丘陵頂部。

※ルートは参考情報であり、実際とは異なる場合があります。

※城散策の際、民有地には立ち入らないようにしましょう。



富山県埋蔵文化財センター2006『富山県中世城館遺跡総合調査報告書』に加筆

城散策の難易度 ★★★

(上級レベル。現地までたどり着くのが困難。)

平成27年度 富山市教育委員会発行